

# 市議会だより



委員会にて慎重な議論 ③ページ

10人が登壇 一般質問 ④ページ

6月定例会の審議結果 ⑨ページ

## 甘木祇園山笠 子ども樽神輿 ～がんばろう！朝倉～

「朝倉復興祈願」ののぼり旗を掲げ  
ワッショイ！ワッショイ！と元気よく  
甘木須賀神社から甘木町内を回ります。

# 6月定例会「ふるさと朝倉を取り戻す」

## 林市長の4本柱を基軸に

6月補正額 約 11億6,500万円(一般会計)を可決  
予算総額は 約471億6,500万円(一般会計)に

# 詳細かつ慎重な審査を

# 委員会付託案件

議案等の詳細な審査と結果の報告を委員会に委ねることを「委員会付託」といい、付託された委員会は審査の結果を本会議で報告します。ここでは各常任委員会で審査された案件の一部を掲載しています。

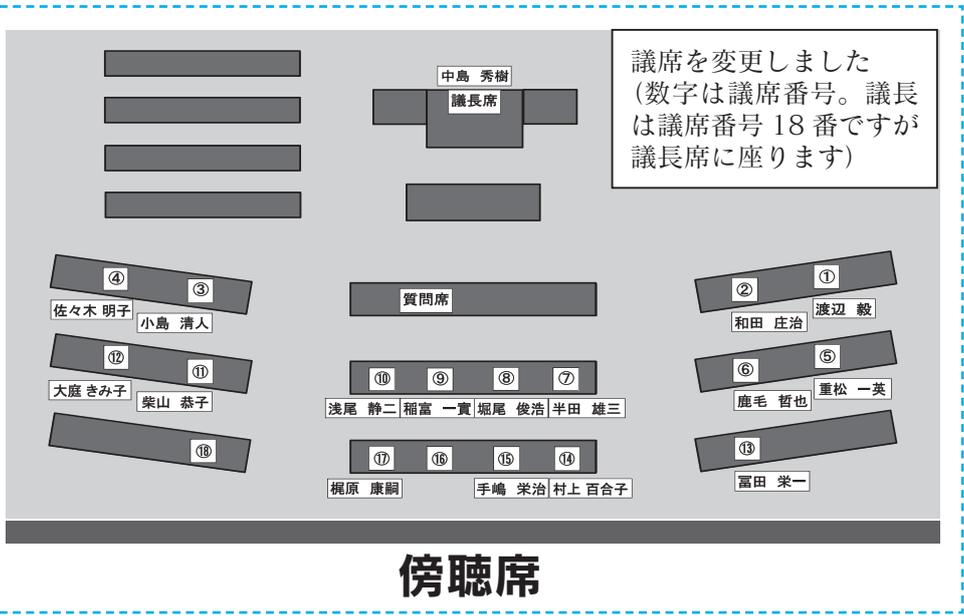
### 会期日程

- 6月12日
  - ◎開会
  - 会期の決定
  - 議席の指定及び一部変更の報告
  - 常任委員会委員の選任報告
  - 会議録署名議員の指名
  - 表彰状の伝達
  - 議案等の上程
  - 提案理由の説明
  - 一部議案の審議(質疑・討論・採決)
- 13・14日 (考案日)
- 15日 ○一般質問 (5人)
- 18日 ○一般質問 (5人)
- 19日
  - 議案等の質疑
  - 議案等の委員会付託
- 20・21日 ◇常任委員会 (事務整理日)
- 25・26日 ○議案等の審議(委員長報告 質疑・討論・採決)
- 27日
  - 追加議案等の上程
  - 提案理由の説明
  - 追加議案等の審議(質疑・討論・採決)
  - ◎閉会

平成30年第2回定例会は、6月12日に招集され、27日までの16日間の会期日程で開会しました。開会日に27件の議案等が上程され、林市長の「ふるさと朝倉を取り戻す2018」4本柱を基軸とした一日も早い九州北部豪雨災害の復旧・復興に向けた政策や補正予算などの提案理由の説明がありました。また、人事案件1件を同意しました。

一般質問では10名の議員が林市長の政策ビジョンを問う活発な議論が行われました。上程された議案は、各常任委員会に付託された後、執行部の詳細な説明を受け、慎重に審査を行いました。最終日に、付託された議案について各常任委員長から審査報告を受け、質疑、討論、採決を行い、全議案を承認、

可決しました。また、人事案件22件(教育委員会委員2名、公平委員会委員1名、農業委員会委員19名)及び発議案1件が追加上程され審議の上、それぞれ同意、可決しました。さらに、選挙管理委員及び選挙管理委員補充員の選挙を行い、定例会を閉会しました。



# 情報系仮想化基盤を 更新に伴い取得します

総務文教常任委員会

6月定例会で付託された議案3件を審査しました。

☆朝倉市災害派遣手当等の支給及び朝倉市特別用途地区建築条例の一部を改正します

旅館業法の一部が改正され「ホテル営業」、「旅館営業」の営業種目が統合されたことに伴い、「朝倉市災害派遣手当等の支給に関する条例」及び「朝倉市特別用途地区建築条例」の規定を整理するものです。

☆情報系仮想化基盤を取得します

平成24年度に導入した情報系仮想化基盤の更新に伴い、富士通(株)九州支社から購入するものです。

仮想化基盤は容量の大きいサーバ内で複数のシ

ステムを動作させます。本来は36のサーバが必要となるシステムを3台で運用できるとのことです。

☆福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約を変更します

筑紫郡那珂川町が平成30年10月1日から那珂川市となることに伴い、構成市に那珂川市を加えることなど規約の一部を変更します。

委員会では、全員異議なく、原案のとおり可決しました。

☆関係課が連携し、国民健康保険の赤字解消へ

平成29年度の国民健康保険特別会計の額の確定見込みに伴い、事業勘定において平成29年度の歳入が不足し、この不足額を補填するため、平成30年度予算において2億8700万円を繰上充用す

る予算の補正を行いました。平成27年度以降は繰上充用額の減少が見られます。

# 国民健康保険の 財政健全化へ

環境民生常任委員会

6月定例会で付託された議案7件を審査しました。

☆朝倉市税条例等の一部を改正します

働き方の多様化を踏まえ、様々な形で働く人を応援する観点から、個人市民税について給与所得控除及び公的年金等控除の控除額を一律10万円引き下げ、どのような所得にも適用される基礎控除を10万円引き上げることなどを行うものです。

委員会では、全員異議なく、原案のとおり承認しました。

☆下水道事業会計補正予算

要因として、平成26年度、平成27年度に行つた赤字補填のための一般会計からの法定外繰入、平成27年度に行つた税率の引き上げや国民健康保険改革に伴う国の公費の拡充、滞納整理の強化などが挙げられます。また、市が行つた各種取り組みに対しての交付金を獲得していること、今後も関係課と連携した赤字解消の取り組みを継続していくことなどの説明を執行部から受けました。

# 災害公営住宅が 杷木と甘木頓田に建設予定

建設経済常任委員会

6月定例会で付託された議案2件を審査しました。

☆下水道事業会計補正予算

下水道事業会計補正予算は、雨水整備のための土地評価鑑定として70万円、下水道整備台帳に341万8千円、雨水整備事業費等として事業費3件ほか、設計及び地形図作成等に2600万円を増額します。

委員会では、執行部の説明を了とし、全員異議なく、原案のとおり可決しました。

☆災害公営住宅

災害公営住宅を、杷木小学校跡地50戸と甘木頓田地区30戸、鉄筋コンクリート造3階建てにて建設を予定し、県と工事委託に関する協定を締結するもので、協定額は18億9970万円です。

平成31年7月末事業完成予定とし、意向調査を行

い、被災者に寄り添いながら、一日も早く安心して暮らせる住環境を整えられるよう事業実施を行うことを確認し、全員異議なく、原案のとおり可決しました。



災害公営住宅が被災者の安住となるように

# あれから一年

# 朝倉市の復興に向けて質問に立つ

## 質問者10人、傍聴者49人

一般質問は、年4回開催される定例会の中で行われます。ここに掲載したものは抜粋ですので、全文については、会議録を閲覧されるか、市議会のホームページでご確認ください。

### 大庭 きみ子 議員

- 質問項目
- 1 市長マニフェストについて
  - 2 職員採用制度について



**Q** これからは、地域防災力の強化や組織の強化が不可欠である。特に防災士の

育成や女性の登用、助成金制度等も考えてほしい。

**A** 大変大切な提案であり、具体的に検討を進める。

**Q** 避難所運営マニュアル作成が必要だが、避難所運営委員に女性の登用や母子避難所も明記して戴きたい。

**A** 運営委員には必ず女性の登用を、母子避難所につ

いては今後マニュアル作成の中で検討していく。

#### 人口減少対策について

**Q** 災害後の人口減少は深刻な問題である。若い世代の流出や人口減少に歯止めをかける為にも、子育て世代包括支援センターは必要だと思いが、考えを伺う。

**A** 今年の11月に設置の予定。健康課と子ども未来課と連携して、妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援をしていく。

#### 職員の健康や過労死等の二次被害対策が重要

**Q** 過労死ラインと言われる、残業が月80時間を超えている職員は何人か。

**A** 4月で24人。昨年7月は262人であった。

**Q** 長期間過労死ラインを超える心疾患や鬱になつたり、メンタル面での病気になるやすい。過労死を招かぬよう、市長から休暇を取るように声を掛けてほしい。

**A** 今後、職員の健康管理

には十分注意を払っていく。  
**Q** 会計年度任用職員制度導入のスケジュールは。

**A** 今後、臨時、嘱託職員の実態を把握、整理し、任用や勤務時間の検討、職員団体との協議を行い、平成31年9月議会で条例制定となる。

### Q 減災・防災には、地域防災力の強化が重要

**A** 大切な提案であり、具体的に検討を進める



復興に向けて動き始めた三連水車

### 桂川・佐田川下流域の内水排除対策は

#### A 関係機関と研究・協議し要望していく

課題の内水排除をやらなければ蜷城の人たちは生活できない。  
桂川改修促進期成会と床島蜷城地区改修期成同盟会は、毎年、排水ポンプの設置、桂川下流域の内水排除対策の2点を強力に要望活動をしているが、一向に進展しない。合法的に国・県に訴えるには署名活動が一番と考え、740名の署名を集め、市長を通じ県知事に提出していただいた。その回答なり来ているのか。いかにして自然の脅威に立ち向かい、人命も、建物も、農地も守っていくかである。

桂川については、平成29年7月の災害に伴い、大規模な災害対応の河川改修というものは、今打ち出されている。桂川改修が進んだとしても、内水という課題は市も認識している。

県へ働きかけ、一緒に内水排除対策については今後検討していくということまで考え方は一致している。  
議員が言う長田川の浚渫が有効であれば、要望の内容として検討していく。今後関係機関と内水排除の対応の研究・対応策について協議をしていく。  
桂川の内水問題・排水対策については、蜷城地区の大きな課題と認識している。  
長田川をはじめとする県管理河川がある。県管理河川については、しっかりと対応していただくよう協議をしていく。要望もしていきたい。

### 重松 一英 議員

- 質問項目 1 桂川・佐田川下流域の内水排除対策について
- 2 「観光あさくら」の目玉 朝倉に眠る「朝倉橋広庭宮」の発掘調査について
- 3 上昇が止まらない介護保険料の現状と対策について
- 4 コミュニティバスの現状と今後の対策について



#### Q 蜷城地区は桂川の最下流域にあたり、筑後川との合流点である。筑後川が増水し、逆流を防ぐため、やむなく水門を開けた場合、桂川の上流部に降った雨は行き場がなくダム状態になり、下流から浸水していく。

蜷城地区は桂川の最下流域にあたり、筑後川との合流点である。筑後川が増水し、逆流を防ぐため、やむなく水門を開けた場合、桂川の上流部に降った雨は行き場がなくダム状態になり、下流から浸水していく。

桂川については、平成29年7月の災害に伴い、大規模な災害対応の河川改修というものは、今打ち出されている。桂川改修が進んだとしても、内水という課題は市も認識している。



水害のないまちづくりを

#### Q 災害時の安否確認にも役立つ事業である、緊急通報システム貸与事業の利用状況を問う。

方で見守りの必要性の高い方に、無料で機器を貸与できる事業であり、現在の利用者数は208名である。



### 渡辺 毅 議員

- 質問項目 1 緊急通報システム貸与事業について
- 2 夜間の救急医療について
- 3 市内の産婦人科の状況について

#### Q 昨年の水害時には、緊急通報システムの機器設置者へコールセンターから通信機器の接続確認を兼ね、安否確認が行われている。

市の職員数が限られる中、民間の力を活用できるところは積極的に活用すべきであり、市民への周知を徹底していただきたい。

周知が足りないということであれば、何らかの方法で行いたい。

#### 夜間の救急医療について

夜間の急患は、市外の病院にも搬送されている。市内の急患受け入れ態勢を強化すべきではないか。

医師会病院の医療体制については、市で申し上げ

られないが、救急医療体制が維持できるような市も助成を行っている。

#### 市内の産婦人科の状況について

出産・子育てしやすい環境整備のために、産婦人科の充実を図るべきだ。

医師会病院に設置できるように働きかけたい。



緊急通報システム 条件が合えば無料で貸出

### 緊急通報システム貸与事業推進について

#### A 何らかの方法で周知徹底を図りたい

### Q ピンチをチャンスに変えるには

**A** 災害復興と地方創生の組織体制を作る

**A** 昨年度からの繰り越しを含め、今年度の災害関連予算は約300億円である。

今年度の予算で財源不足が生じたが財政調整基金30億円、特別交付税9億円で対応した。さまざまな事業や経費が毎日のように現れ対応を協議している。国・県へ要望して財源の確保に全力を挙げて取り組み、健全な財政運営を守っていく。

## 浅尾 静二 議員

質問項目

1 林新市長の市政運営について



**Q** 今年度当初予算は約460億円で朝倉市始まって以来の大型予算である。豪雨災害からの復旧・復興事業で朝倉市の財政運営を心配する市民も多い。現在の財政状況と今後の見通しを尋ねる。

**A** 昨年度からの繰り越しを含め、今年度の災害関連予算は約300億円である。今年度の予算で財源不足が生じたが財政調整基金30億円、特別交付税9億円で対応した。さまざまな事業や経費が毎日のように現れ対応を協議している。国・県へ要望して財源の確保に全力を挙げて取り組み、健全な財政運営を守っていく。

**Q** 合併特例債事業の期限が平成37年度まで5年間延長を認められたことは、災害を受けた朝倉市にとって大きな事である。今後の考え方について尋ねる。

**A** 大型事業の中でも市庁舎建設は、財政状況をみながら今までの経過を尊重し、実施できるタイミングを見回りたい。その他の大型事業は当面凍結し、検討する時間をいただきたいと

尋ねる。

思う。

**Q** 市長の決意にふるさと朝倉を取り戻す、地方創生に取り組みとあるが考えを尋ねる。

**A** 市職員の本来の業務と災害対応業務が重なって双方の業務に対応している。このような状況を解消し、地方創生、地域活性化に専念できる職場づくり、一方では災害対応を主にする体制を作ることを考えている。

**Q** 今の朝倉市の重要政策は、災害復興と地方創生の2つの部門と考える。それぞれの部門に事務方のトップである副市長2人制もあると思うがいかがか。

**A** そのような考え方もあると理解している。

と理解している。



創生を議論するシンクタンク

### 災害公営住宅

**Q** 「松末復興かわら版」に1ページにわたって掲載されているように、住民と行政の思いが違つ。また議場の答弁との違いもある。私が3月議会で確認し

た議事録と同じなのか。  
**A** 朝倉市は「同じ」だと解釈している。

### 自衛隊派遣要請

**Q** だが、派遣しないで大丈夫と判断したのか。

**A** 5月10日に河川管理者、森林組合、自衛隊で現地確認をした。県に自衛隊の要請をお願いするまでには、至らなかった。

### 6月10日現在の北川の道から見える流木の写真、これが現実だ。5月15日議会全員協議会があつたその夜、平榎地区常会があり、放置された流木について住民が尋ねると、県は初めて聞くような態度だった。これから何ができるのか。

**A** さまざまな機関と連携しなければならぬことであり、自衛隊がやってくださいということはできない。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

負担率については、激甚災と同様に対応することで考えていきたい。

負担率については、激甚災と同様に対応することで考えていきたい。

## 富田 栄一 議員

質問項目

- 1 災害公営住宅について
- 2 二次災害防止への自衛隊活動について
- 3 農地激甚災害復旧について
- 4 災害時の議会及び執行部の役割について



### Q 頑張った。しかし間に合わない被災農地は

**A** データを作成中で全容の把握に努めている



6月10日、今の北川上流

### 査定に間に合わなかった被災農地

**Q** あるのか。あれば、その復旧補助率は、激甚災害と同じか。

**A** 今でも、業務に追われる日々が続いている。査定後も設計そして契約など膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

膨大な事務事業を行っている。続き災害発生箇所別報告書のデータ作成まで手が回っていない。だから間に合わなかった箇所があるのかも、まずデータの作成ができていない、全容の把握に努めているところだ。

### Q 通級指導教室の今後は

**A** 増設することを検討したい

ているということなので、具体的に集約をし、行政として対応しながら、力を合わせてコミュニティの皆さん方と行政がいい地域をつくっていく、いい市をつくっていくという協力関係を構築しながら前に進めていく。

### Q 教育行政について

**Q** 通級指導教室は、特に小学校2カ所では足りていないと思うが今後の考え方を問う。

**A** 足りない現状があるので、小学生を対象とした通級指導教室について1カ所増設することを前向きに検討していきたい。

### 鹿毛 哲也 議員

質問項目

- 1 市長の政策について
- 2 朝倉市の基金について
- 3 人口増対策について
- 4 観光行政について
- 5 教育行政について



### 市長の政策について

**Q** 復興計画も策定され肅々と復興が進んでいるが、被災以外の地域も優先順位をつけて懸案事項に取り組むべきではないか。

**A** いろいろな課題が出てき

**Q** 地域のインフラ整備や補修については、行政がしっかりとやっていくべきではないか。

**A** 行政で当然やるべきことはやっていく。

**Q** 将来的にどのような朝倉市にしたいのか。

**A** 農業を初め商業、工業、観光などの産業が振興し、大都市圏との交流も盛んで、そこには雇用も充実している。その上で豊かな自然に加え、人と人とのつながりや歴史文化の資源にも恵まれた中で、全ての世代



※1 ノーマライゼーションの充実を目指す

※1 障がい者や高齢者などを区別せず、すべての方がお互いに助け合いながら等しく暮らししていくことを目指す考え方

**Q** 寺内ダムにおいてただし書き操作が行われれば佐田川下流域では氾濫を招いたとある。災害の対応は。

**A** 完全にオーバーフローする箇所起こるであろう災害内容それに対応すべく緊急時の対応を検討している。

**Q** 氾濫を想定した避難訓練や情報伝達手段については。

**A** 国交省などから示された情報を開示し避難経路をどうするか地域の取り組み等併せて対応していく。見直し版ハザードマップには洪水浸水想定区域等を表し伝達方法も記載し作成を行う。

**Q** 朝倉市政は気象、河川の特性を十分に把握し、その専門性を高める施策を行うべきではないのか。

**A** ダム関係機関、防災機関組織と顔の見える関係をつくり専門的情報を取り入れ判断につなげていく。

**Q** 全市挙げての避難訓練を進めるべきではないか。

**A** 出水期に向けての避難訓練については地区ごとの呼びかけにとどまったが、今後全市的な避難訓練の取り組みも検討する。

**Q** コミュニティで構成さ

れる人口世帯数の違いは運営に何の支障もないのか。

**A** 人口に応じて事務量は大変異なってくる。今後職員数補助金、業務のあり方を協議する。時間外勤務も何らか考え今年度中に検討する。

**Q** 民生委員一人528世帯を担当している実態を知っているのか。福祉事務所らしく弱い立場の人に寄り添うような仕事をしているのか。

**A** 民生委員の方の活動の把握が十分でなく、今後は担当世帯数など基礎的な情報を整理し、正確な実態把握に努め改善を図っていく。



地域づくりはコミュニティの頑張りから  
通学合宿1週間

### Q 寺内ダムただし書き操作で氾濫の地域は

**A** 危険箇所の確認や災害内容を検討する

※2 異常洪水時防災操作

### 災害公営住宅の家賃に減免制度はないのか

**A** 年所得に応じて1/4から3/4の減免制度がある

考える。

**Q** 文部科学省の事務次官通知、県教育委員会の指針などを踏まえ、さらなる改善が必要ではないか。

**A** タイムカードや留守番電話の導入。定時退校日の周知徹底。夏休み期間中の閉庁日の開設。給食費の公会計化。支援員の増員など、

**Q** 熊本のいくつかの自治体は、木造仮設住宅を被災者向けの住居としてその活用を検討している。朝倉市も仮設住宅を低所得者向けの恒久的な公営住宅に活用することはできないか。

### 佐々木 明子 議員

質問項目

- 1 学校における働き方改革について
- 2 平成29年7月九州北部豪雨災害による被災者生活再建支援について



**Q** 教職員の超過勤務の改善は進んでいるのか。

**A** 超過勤務の実態調査は行っていないが、改善すべき状態だと考える。書類の削減や学校の定時退校日などに取り組んでいるが、教職員の意識改革も必要だと

**Q** 約90戸の災害公営住宅の建設計画が進められている。しかし今も多くの被災者が自宅を離れ仮住まいを続けている。住民に寄り添った意向調査だったのか。

**A** 災害公営住宅の建設方法や住宅ニーズに応える住宅地提供など、被災者の意向に沿って検討していく。

**Q** 災害公営住宅・公営住宅の家賃に対して、低所得

者への減免制度はないのか。

**A** 年所得額に応じて、1/4から3/4の減免制度がある。個別に相談を受けたい。

**Q** 熊本のいくつかの自治体は、木造仮設住宅を被災者向けの住居としてその活用を検討している。朝倉市も仮設住宅を低所得者向けの恒久的な公営住宅に活用することはできないか。

**A** 朝倉市の仮設住宅は福岡県が建設しており、解体工事まで含めたリース契約である。熊本県の応急仮設住宅とは制度の違いがあるのではないのか。

**Q** 朝倉市の仮設住宅は福岡県が建設しており、解体工事まで含めたリース契約である。熊本県の応急仮設住宅とは制度の違いがあるのではないのか。

**A** 朝倉市の仮設住宅は福岡県が建設しており、解体工事まで含めたリース契約である。熊本県の応急仮設住宅とは制度の違いがあるのではないのか。



会集地田園住宅仮設応急で励みに作り体力に

**Q** 平成30年1月の地域公共交通活性化協議会では、モニタリング調査結果が出ているが、その前後の調査の問題点等を聞かせていただきたい。

**A** 利用者の声として、便数が少ない、予約の改善を

**Q** 路線バスの便数を増やす要請はしていないのか。

**A** 要請していない。

**Q** 杷木地域、朝倉地域に關しては西鉄が運行しているが、その辺どの様に考えているのか。

**A** 路線収支が厳しいというところで、協議会では今以上に便数を減らさない様に努力してもらっている。

**Q** 杷木朝倉地域への甘木駅との直結できるシステムが出来ればここまで深刻な問題になっていないと考えるが、どのように考えているのか。

**A** 交通アクセスがよくなれば定住に繋がっていくことは認識している。

してほしい、などの意見が出ていた。

**Q** 路線バスの便数を増やす要請はしていないのか。

**A** 要請していない。

**Q** 杷木地域、朝倉地域に關しては西鉄が運行しているが、その辺どの様に考えているのか。

**A** 路線収支が厳しいというところで、協議会では今以上に便数を減らさない様に努力してもらっている。

**Q** 杷木朝倉地域への甘木駅との直結できるシステムが出来ればここまで深刻な問題になっていないと考えるが、どのように考えているのか。

**A** 交通アクセスがよくなれば定住に繋がっていくことは認識している。

高齢者福祉バス補助について

**Q** 免許証を返納された方にはバス乗車補助券を渡しているというが。

**A** 70歳以上で運転免許証を自主返納された方につき1万円相当の回数券、ICカードを交付している。

**Q** ICカードに関して路線に防災交通課が要請できるかお聞きしたい。

**A** システムをすぐに導入するとは考えていない、協議会で提案というのでも現在考えていない。

### 和田 庄治 議員

質問項目

- 1 地域公共交通活性化協議会
- 2 高齢者福祉バス補助



### 高齢者へのバス乗車補助カードについて

**A** 協議会では提案というのも現在考えていない



地域交通の充実を

**Q 被災者に集団的住居地の情報提供もすべき**

**A 地域に求められる宅地の提供等考える**

に、関係機関の協力のもと、事業の進捗状況や課題の整理、復興計画との整合性など情報の一元化を強化し、加速に取り組む。

**農業担い手不足の対策**

**Q** 農業人口の減少と高齢化、担い手不足の現状を見据え、市の新規就農支援策の45歳基準の幅を広めるべきではないか。

**A** 数年前に5歳引上げましたが、まだ若いと思うので、さらに広げるよう国、県に要望していく。

**村上 百合子 議員**

質問項目

- 1 平成29年7月九州北部豪雨災害から「朝倉を取り戻す」林市長のビジョンについて
- 2 介護サービスと高齢者対策について



**Q** 九州北部豪雨災害復旧は、住民の不安を払拭する加速度が必要である。住民説明会や協議会等での意見に対して、県や関係団体と協議し報告する情報の透明化が求められる。

**A** 復旧復興の実現のため

に、関係機関の協力のもと、事業の進捗状況や課題の整理、復興計画との整合性など情報の一元化を強化し、加速に取り組む。

**Q** 地元に戻り暮らしたいと願う被災者は、集団的な住居地情報を提供することで、以前と同じく住民が寄り添い安心して生活でき、コミュニティの再生もできやすくなるのではないか。

**A** 提案のような、地域に求められる宅地の提供や融資等、実情を把握しながら一緒に考えていきたい。

**荒廃森林対策**

**Q** 荒廃森林の流木が被害を拡大させた。県の森林環境税を活用し、間伐や植栽出来る事を、もつと情報啓発すべきではないか。

**A** 森林組合や商工観光課等の関連事業のPR記事に



移転まであと1年となった仮設住宅

**A** 介護サービス事業のデータ分析と検証したい。

**Q** 市の介護保険料は年々引上げられているが、90の自治体が保険料を引下げている。高齢者の生活困窮対策として、引下げ努力をすべきである。

6月定例会で審議した議案等の結果です

◎…全会一致  
○…賛成多数  
※…討論あり

議案番号	議案の件名	議案の内容	
<b>総務文教常任委員会</b>			
第56号議案	朝倉市災害派遣手当等の支給に関する条例及び朝倉市特別用途地区建築条例の一部を改正する条例の制定について	旅館業法の一部が改正され、営業種別についてホテル営業と旅館営業が統合されたことに伴い、規定の整理を行うもの	◎可決
第61号議案	財産の取得について	情報系仮想化基盤を取得するもの 契約の相手方 富士通株式会社九州支社 取得価格 3663万3729円	◎可決
第62号議案	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組規約の変更について	平成30年10月1日から筑紫郡那珂川町が那珂川市となることに伴い、福岡県市町村消防団員等公務災害補償組規約の一部を変更するもの	◎可決
<b>環境民生常任委員会</b>			
第51号議案	専決処分について（朝倉市税条例等の一部を改正する条例の制定について）		◎承認
第52号議案	専決処分について（朝倉市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について）		◎承認
第53号議案	専決処分について（平成30年度朝倉市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）について）		◎承認
第57号議案	朝倉市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部を改正する省令及び学校教育法の一部を改正する法律の施行に伴う厚生労働省関係省令の整理等に関する省令により、規定の整理を行うもの	◎可決

6月定例会で審議した議案等の結果です

◎…全会一致  
○…賛成多数  
※…討論あり

議案番号	議案の件名	議案の内容	
<b>環境民生常任委員会</b>			
第58号議案	朝倉市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法施行令等の一部を改正する政令により、介護保険料の算定に用いる特別控除額の引用規定が改正されたことに伴い、規定の整理を行うもの	◎可決
第59号議案	朝倉市地域包括支援センターの職員等の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について	介護保険法施行規則等の一部を改正する等の省令の施行により、主任介護支援専門員の定義について省令の定義を引用するため、規定の整理を行うもの	◎可決
第63号議案	福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議について	平成30年10月1日から筑紫郡那珂川町が那珂川市となることに伴い、福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部を変更する必要があるため、当該規約の一部変更に関し関係市町村と協議するもの	◎可決
<b>建設経済常任委員会</b>			
第55号議案	平成30年度朝倉市下水道事業会計補正予算（第1号）について		◎可決
第60号議案	工事委託に関する協定の締結について	災害公営住宅等整備の工事委託に関し協定を締結するもの 協定の相手方 福岡県 協定額 18億9970万4000円	◎可決
<b>その他</b>			
報告第2号	専決処分の報告について（交通事故による損害賠償について）		報告済
報告第3号	専決処分の報告について（交通事故による損害賠償について）		報告済
報告第4号	専決処分の報告について（物損事故による損害賠償について）		報告済
報告第5号	専決処分の報告について（物損事故による損害賠償について）		報告済
報告第6号	平成29年度朝倉市一般会計予算の繰越明許費の報告について		報告済
報告第7号	平成29年度朝倉市水道事業会計予算の繰越しの報告について		報告済
報告第8号	平成29年度朝倉市下水道事業会計予算の繰越しの報告について		報告済
報告第9号	平成29年度公益財団法人あまぎ水の文化村の決算について		報告済
報告第10号	平成30年度公益財団法人あまぎ水の文化村の事業計画について		報告済
報告第11号	平成29年度株式会社ガマダスの決算について		報告済
報告第12号	平成30年度株式会社ガマダスの事業計画について		報告済
報告第13号	平成29年度株式会社三連水車の里あさくらの決算について		報告済
報告第14号	平成30年度株式会社三連水車の里あさくらの事業計画について		報告済
第54号議案	平成30年度朝倉市一般会計補正予算（第1号）について		◎可決
第64号議案	朝倉市教育委員会教育長の任命について		◎同意
第65号議案・第66号議案	朝倉市教育委員会委員の任命について		◎同意
第67号議案	朝倉市公平委員会委員の選任について		◎同意
第68号議案～第86号議案	朝倉市農業委員会委員の任命について		◎同意
発議案第1号	議員の派遣について		◎可決

# 補正予算

## 市政の4本柱を立て

# 一般会計当初予算に約11億6,500万円を増額

※当初予算は骨格予算であったことから政策的な事業に係る予算、災害復旧事業費等の補正が行われています。

6月定例会は、市長選挙後初の定例会となり、開会日の提案理由の説明では、市長から今後の市政運営の基本となる4本の柱について説明が行われました。

### あさくら復興

朝倉市復興計画の基本理念をもとに今年度を「復興元年」と位置付け、朝倉市一丸となった「オールあさくら」で復旧・復興に取り組みます。

### 健全あさくら

災害復旧事業は、補助事業以外の単独事業などにも多額の財源が必要になります。また、災害に関連した様々な事業も追加・発生していることから、厳しく事業の取捨選択を行う必要があります。特に大型事業については、新庁舎建設は平成37年度まで延長された合併特例債を活用しながら建設する時期を検討し、その他の大型事業は当面一時凍結し、健全財政を守り結論を出していきます。

### あさくら創生

朝倉市総合戦略により地方創生事業を進め、人口減少・少子高齢化に向き合っていきます。

観光振興などによる交流人口を増加させ、経済団体、農業団体、医療・福祉関係団体などの各団体や関係機関との意見交換を行い、多くの知恵と見識を集め、それを施策に結びつけていきます。基幹産業である農業は、担い手不足の対策や経営体の育成に取り組みほか、農商工連携による6次産業化の推進等により収益性の高い農業を目指します。また、企業誘致を積極的に推進するとともに、起業・創業の支援だけでなく既存事業所が発展できるよう支援を行います。

### ふるさと朝倉

すべての世代が心豊かに暮らせるまちを目指します。

子どもを産み・育てやすい環境づくりや高齢者の住み慣れた地域での自立した生活を送る環境づくりなどを行います。

## 5月補正予算(専決)

### ・国民健康保険特別会計 事業勘定

・前年度の決算見込み(歳入不足)による繰上充用金.....2億8700万円

## 6月補正予算

・一般会計.....11億6453万円

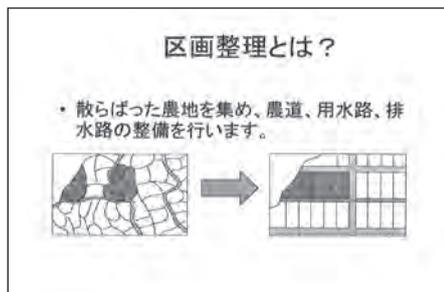
### ・下水道事業会計

・収益的収支.....411万円

・資本的収支.....2600万円

「一区画整理による農地農業用施設災害復旧」に  
2億7531万円

平成29年7月九州北部豪雨により甚大な被害に遭った河川流域の農地復旧のため区画整理を活用して復旧を行います。平成30年度は区画整理区域の決定などが予定されています。



「中学生以下インフルエンザ予防接種助成」に  
2374万円

中学生以下のインフルエンザ予防接種費用を1回3千円を上限に助成します。

「子育て世代包括支援センター開設」に  
254万円

誰もが安心して子育てができる地域社会を目指し、妊娠から子育て期まで切れ目ない支援を行います。平成30年11月開設予定です。



「三連水車の里あさくら災害復旧」に  
3000万円

被災した三連水車の里あさくらを復旧します。

「転入者の新築、住宅改修費等補助」に  
1200万円

移住・定住の促進に向け、要件を満たす方に、住宅リフォーム費用の一部補助、転入者の新築費用の一部補助を行います。

# 人事案件

次の方々の任命、選任について同意しました。

朝倉市教育委員会教育長

宮崎 成光 氏  
(三奈木)

朝倉市農業委員会委員

穴見 義夫 氏  
(中原)

朝倉市教育委員会委員

井手 千章 氏  
(杷木星丸)

内藤 主税 氏  
(林田)

朝倉市公平委員会委員

日野 佳弘 氏  
(久留米市)

森山 勝馬 氏  
(甘木)

手島 信行 氏  
(中島田)

後藤 干城 氏  
(堤)

伊藤 猛 氏  
(杷木若市)

手嶋 和彦 氏  
(上秋月)

藤原 浩俊 氏  
(宮野)

畑 和徳 氏  
(杷木志波)

田中 武俊 氏  
(大庭)

武井 正道 氏  
(積原)

森部 賢一 氏  
(長瀬)

樋口 博幸 氏  
(三奈木)

田中 睦美 氏  
(比良松)

手島 博行 氏  
(三奈木)

櫻木 朝喜 氏  
(山田)

原野 道明 氏  
(倉吉)

林 新吾 氏  
(杷木林田)

樋口 好澄 氏  
(杷木松末)

田中 政則 氏  
(八重津)

## 9月議会 会期日程(予定)

9月4日 ◎開会

- 会期の決定
- 会議録署名議員の指名
- 議案等の上程
- 提案理由の説明
- 決算審査特別委員会の設置
- ◇決算審査特別委員会

7・10・11日 ○一般質問

12日 ○議案等の質疑・委員会付託

◇常任委員会

13・14日 ◇常任委員会

18～21日 ◇決算審査特別委員会

27日 ○議案等の審議

(委員長報告 質疑・討論・採決)

○諸般の報告

◎閉会

9月定例会の会期日程は8月30日(木)開催予定の議会運営委員会にて変更になる場合があります。

# 選挙

次の方々が指名推薦による選挙で当選されました。

朝倉市選挙管理委員

吉田 英雄 氏  
(菩提寺)

朝倉市選挙管理委員補充員

山崎 正徳 氏  
(江川)

能登原 卓 氏  
(下浦)

渡邊 哲雄 氏  
(三奈木)

大内田 賢 氏  
(菱野)

森 潔 氏  
(大庭)

平川 隆夫 氏  
(杷木池田)

日野 裕子 氏  
(杷木志波)

## 広報委員会

広報委員会の委員に和田庄治委員が新たに加わりました。よろしくお願いいたします。



## 編集後記



7月5日。平成29年7月九州北部豪雨から1年を迎えたこの日も、朝から断続的に大雨が降り、恐怖が蘇った。亡くなられた方々を偲び、未だ帰宅が叶わぬお二人を想い、ふるさとの再興を誓った追悼式が執り行われた。

朝倉市出身の羽野洋之氏が作詞した「わたしのふるさと」あさくら」が朝倉高校生により献歌された。その一節「わが故郷よ永遠なれと祈りつつ、いつも心に未来を抱く私のふるさとあさくら」が心に響く。

立ち止まってはならぬ。被災者に寄り添ったふるさと再興でなければならぬ。がんばろう!!朝倉

## 広報委員会

委員長	村上百合子
副委員長	重松 一英
委員	浅尾 静二
委員	堀尾 俊浩
委員	佐々木 明子
委員	和田 庄治